

こんな仕事しています



◎センター職域班について

センターでは発注者からのたくさんの要望に応えるため、またセンター事業の基本となる「自主・自立」の精神での就業と、「共同・共助」を基本とした会員の連帯意識を基調とした安全な作業遂行を促進するため、可能な限り各職種ごとに職域班を組織しています。

職域班は就業を行う上での核となるものであり、各職域班には職域班長がおり、就業において職域班長がセンター事務局、発注者とその班の会員とのパイプ役となっています。

職域班の活動を前号に引続き、ご紹介します。

☆精華町役場清掃班

一般作業群職種として、年間を通して精華町役場の清掃を行なっています。

現在、班数は2班、7名で一班を構成し、祝日以外の日に各班が一日おきに役場共有部分等の清掃をしています。

一日の始めは打合せとラジオ体操から始まり、掃除機、モップ、清掃用クロス等清掃用具を駆使して、日々役場の清掃に励んでいます。

☆遺跡発掘班

一般作業群職種の単発作業として、平成19年10月から11名が木津川市市坂で埋蔵文化財発掘の作業をしています。

木津川市シルバー人材センターが業務多忙ということで、精華町シルバーに就業依頼があり、主に夏季除草作業をしている会員が集合し、発掘作業を行なっています。

現場はもともと池沼の湿地帯で、会員は浸透してくる水に悪戦苦闘しながら、遺跡発掘を行なっています。予定は平成20年1月末までです。風邪を引かずに頑張ってください。



◎「ふるさと案内人」の活動 早くも他地域との交流に参加！

交流会名 「協働サロン やましろうじ」
 実施日 平成19年 9月29日(土)
 実施場所 立命館大学大学院政策科学研究科
 地域研究交流拠点「協働ラボ・うじ」
 参加者 羽場三喜男会員、中井正治会員
 事務局 山本

NPO・行政・住民協働に関する研究交流会を観光ボランティア活動を題材として行うということで、当センター「ふるさと案内人の会」にも出席要請があり、参加してきました。

宇治市や八幡市等山城各地域のガイド団体が出席して、意見交換を行ないました。当センター「ふるさと案内」は生まれてまだ1年目。他の先進地の事例を参考にすることができました。